



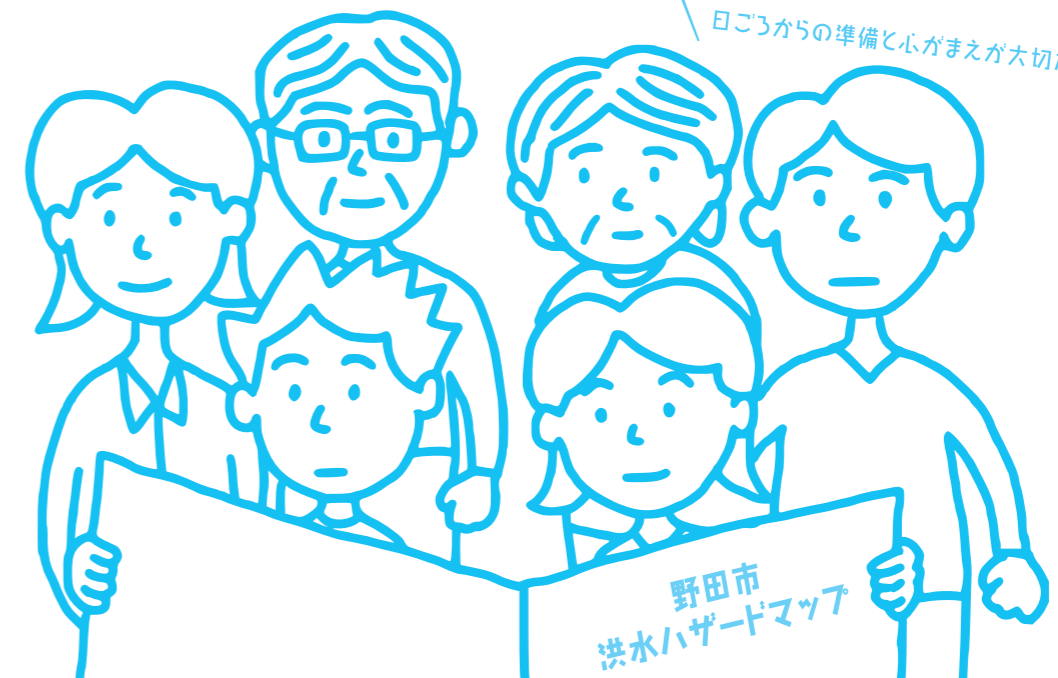
野田市

想定最大規模版

# 洪水ハザードマップ

## 【洪水避難地図】

「わが家の避難先」を書き込んでおきましょう



避難先の名前 \_\_\_\_\_

住所 \_\_\_\_\_ 電話 \_\_\_\_\_

### わが家の防災メモ

ご家族やご近所の方などについて記入しておきましょう

名前	生年月日	連絡先	血液型	既往症
明大昭平令	年 月 日	携帯電話 会社 学校 その他	型	
明大昭平令	年 月 日	携帯電話 会社 学校 その他	型	
明大昭平令	年 月 日	携帯電話 会社 学校 その他	型	
明大昭平令	年 月 日	携帯電話 会社 学校 その他	型	
明大昭平令	年 月 日	携帯電話 会社 学校 その他	型	
明大昭平令	年 月 日	携帯電話 会社 学校 その他	型	
明大昭平令	年 月 日	携帯電話 会社 学校 その他	型	
明大昭平令	年 月 日	携帯電話 会社 学校 その他	型	
明大昭平令	年 月 日	携帯電話 会社 学校 その他	型	

### 緊急時の連絡先など

親戚・知人など、緊急の時の連絡先	名前	電話
近くのお年寄りや体の不自由な方など	名前	電話
自治会名 / 代表者	名前	電話

### 緊急問い合わせ・災害情報連絡先

野田市役所 04-7125-1111

東京電力 0120-99-5556

野田警察署 04-7125-0110

野田ガス 04-7125-0101

野田消防署 04-7124-0119

この冊子についてのお問い合わせ

野田市土木部管理課 Tel: 04-7125-1111 (代)

# はじめに

## 洪水に強い野田市においても、万一の備えが必要です

野田市は、一級河川の利根川、江戸川、利根運河に三方を囲まれています。この3河川は国の管理する河川で、200年に一度起こる可能性のある洪水に耐えられるように堤防などの整備が進められています。

その結果、野田市内では、昭和22年9月のカスリーン台風によって埼玉県有加須市(旧大利根町)付近で利根川の堤防が決壊したのを最後に洪水被害は発生していないことから、野田市は洪水に強い安全度の高い地域と言えます。

しかし、想定を超えるような大雨が利根川流域に降ると河川が増水して堤防が決壊や越水し、濁水が私たちの町のなかに流れ込む可能性があります。

そこで、このような大雨に際して、市民の皆さんの避難に役立つよう冊子を作成いたしました。この冊子のうしろには、浸水の可能性のある区域と浸水の程度が図示(平成27年の水防法の改正により想定最大規模(1000年に1度)の浸水想定区域を表示)されたハザードマップを用意いたしました。万一の事態の備えとして、この冊子とハザードマップを熟読し、ご自分の住まいが避難の必要な区域にあるかどうか、避難所がどこにあるかを確認して下さいますようお願いいたします。

# 洪水ハザードマップとは

## お住まいの場所の危険度、避難所、避難のときに必要な情報などが掲載されています

このマップは、利根川、江戸川、利根運河が増水し、氾濫した場合の解析結果にもとづいて、浸水が予想される範囲とその程度、各地区の洪水時の避難所を示したものです。

想定している洪水の規模は、「想定し得る最大規模の降雨」(1000年に1回程度)での雨量をもとに、堤防が決壊した場合のシミュレーション結果となっております。

具体的には、利根川、江戸川、利根運河の合わせて76箇所が同時に破堤した浸水区域を表したものです。どこが決壊するかは、予測できませんので、1箇所から数箇所が決壊するという実際の洪水とは異なるものです。従って、大雨が降ったからといって必ずしもマップのような被害が発生するというものではありませんが、最悪の場合を想定し、避難所の位置や経路などを再確認し、各家庭で洪水時にどのように行動するか話し合っておくことが大切です。

利根川、江戸川、利根運河の河川の水が市内に流れ込んできた場合に浸水する可能性のある範囲を浸水深毎に右図のように色分けして示しており、浸水深が0.5m以上(色表示)の区域に住んでいる方は避難が必要になります。

なお、野田市においては、過去に昭和22年のカスリーン台風の影響により、野田橋付近の浅間下堤防1箇所が決壊した記録が残っています。

国土交通省の「地点別浸水シミュレーション検索システム(<https://suiboumap.gsi.go.jp/>)」では、破堤ポイントごとの浸水想定図を検索することができますので、参考にしてください。

※昭和23年9月洪水(アイオン台風)の時の降雨波形を使用 (1000年に1回程度:八斗島上流域3日間雨量491mm)



### 浸水深

- 水の深さが10.0~20.0mの区域
- 水の深さが 5.0~10.0mの区域
- 水の深さが 3.0~ 5.0mの区域
- 水の深さが 0.5~ 3.0mの区域
- 水の深さが 0.5m未満の区域

●国土交通省  
【地点別浸水シミュレーション  
検索システム】QRコード▶



# 万一の洪水に備えて

## この冊子の内容

### 「わが家の洪水ハザードマップ」を作って活用しましょう

●洪水ハザードマップの使い方 ..... 1 ~ 2

### もしもの洪水！野田市などの公共機関からの情報を収集し、冷静に行動しましょう

●市民のみなさんへの情報の伝達 ..... 3 ~ 4

### いつ避難するの？洪水のときの避難情報について

●市から発令される避難情報の種類 ..... 5 ~ 6

### もし大雨が降ったら？洪水予報を収集して自主的な避難に役立てて下さい

●気象庁が単独で行う洪水予報 ●国土交通省と気象庁が共同で行う洪水予報 ..... 7 ~ 8

### どのように行動するの？日ごろの備えから避難行動まで

●日ごろからの備え ●避難準備のときの心得 ●避難のときの心得 ..... 9 ~ 10

### 防災学習①洪水の到達時間差を知る 防災学習②過去の洪水と洪水の種類

●洪水の到達時間差 ●利根川の洪水 ●洪水の起き方 ..... 11 ~ 12

### 防災学習③洪水の広がり予測 河川情報の収集

●江戸川左岸の洪水予測 ●利根川右岸の洪水予測 ●自分で調べる！川の情報 ..... 13 ~ 14

### 自分の避難先を確認しておきましょう

●避難所一覧 ●緊急時の連絡先(警察・消防) ..... 15 ~ 16

### 浸水想定区域内にある要配慮者利用施設

..... 17 ~ 18

### 災害時にどう行動するか考えてみよう

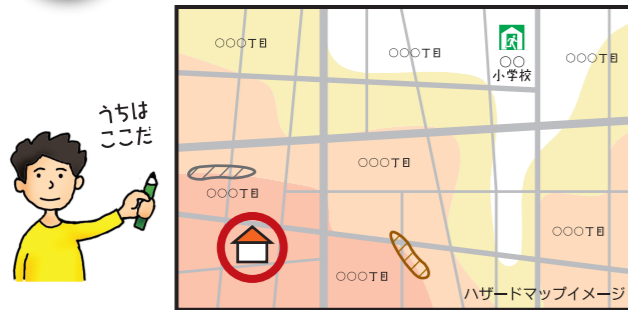
●マイタイムラインの記入例 ..... 19

別紙 マイタイムライン

# 『わが家の洪水ハザードマップ』を作って 活用しましょう

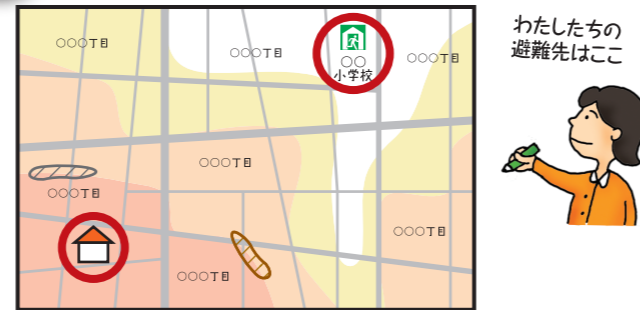
## 洪水ハザードマップの使い方

### ステップ 1 まず、自宅の位置に印をつけましょう



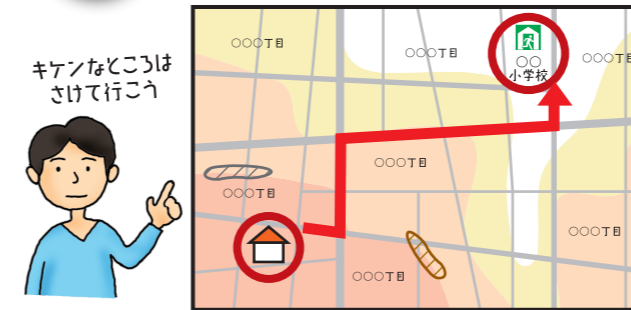
自宅の位置に印をつけたら、自宅の浸水深を確認しましょう。また、その浸水深がどの程度の深さなのかを、下の「浸水した場合の水の深さの目安」を参考に確認してください。浸水深が0.5m以上である場合には、避難の必要があります。

### ステップ 2 次に、自分達の避難先に印を付けましょう



p15・16に掲載されている「避難所一覧」で避難先を確認しましょう。そして、この冊子の表紙にある「わが家の避難先」書き込み欄に、避難所、知人宅等の避難先の名前などを書いておきましょう。

### ステップ 3 危険箇所を避けて避難経路を設定しましょう



洪水ハザードマップには下に示すような印で、過去の浸水箇所や土砂災害(急傾斜地崩壊)の危険箇所を記載しています。このような箇所を避け、自宅から避難先までの経路を決めましょう。

### ステップ 4 実際に経路を確認して安全か確かめましょう



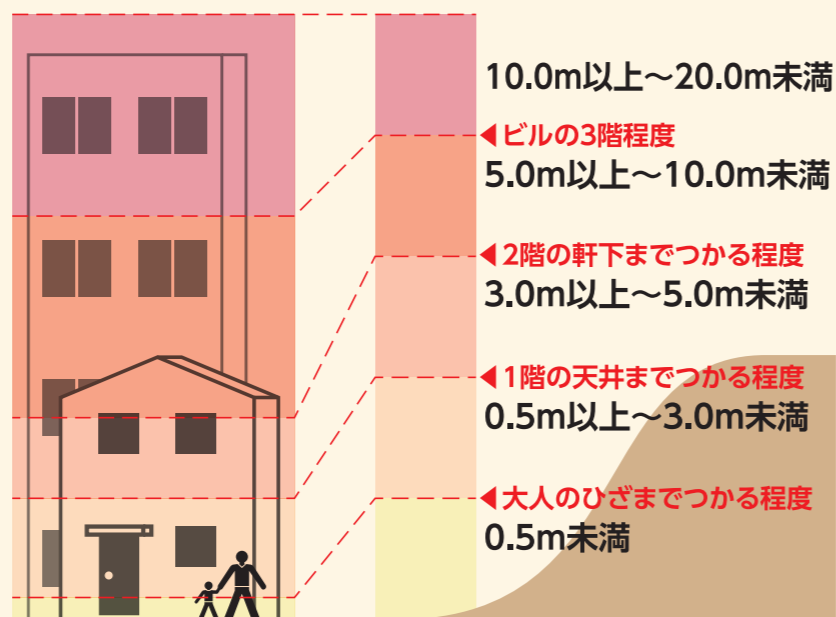
ステップ3で設定した避難経路を実際に確認して、他に危険箇所があれば、マップに目印を書き加え、避難経路の再設定を行いましょ。

### ステップ 5 地域で協力して、より良いマップにしていきましょう

お住まいの地域の危険箇所・注意点について地域のみなさんで話し合い、情報を共有しましょう。そして、自分達のハザードマップをより良いものにしていきましょう。



#### ● 浸水した場合の水の深さの目安



#### 過去の浸水箇所

過去(平成16年10月の台風22、23号と平成25年9月の台風18号、平成25年10月の台風26号、平成27年9月の台風18号、令和元年の台風15、19号)の主な浸水箇所・道路冠水箇所を示しています。

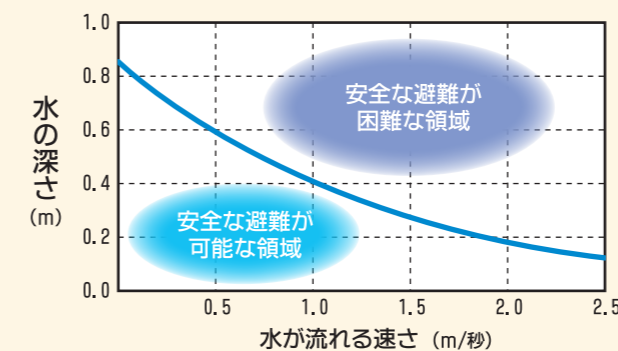
#### 急傾斜地崩壊危険箇所

崖崩れとも呼ばれます。大雨の時に地盤が緩み、斜面が瞬時に崩れ落ちる可能性があります。

- たとえ近道でも、川を越えたり、川に近づいたりしないで下さい。
- その他、避難の妨げになりそうな障害物(倒れそうなブロック塀、狭い道、行き止まり)や、水が溜まりそうな箇所(蓋の固定していない側溝など)はマップに書き加えて、避難時には回避しましょう。

#### ● いざ避難！ 歩行が可能な水の深さは？

洪水の程度(水の深さと流れの速さ)と避難との関係について調べるために、成年男子による水中歩行の実験をした結果、次のようなことが分かりました。



#### 水の深さがひざ程度(40～50cm位)

水の流れが速くなれば歩けますが、十分に注意をして避難して下さい。これ以上の深さになったら、高い場所で救助を待ちましょう。

#### 水の深さがまた下程度(80cm位)

歩きづらくなります。

#### 水の深さが腰の高さ程度(1m位)

歩くのが非常に困難になり、恐怖感をおぼえます。

女性や子どもなどの場合には、左図の「安全な避難が可能な領域」よりも水の深さが浅く、流れも遅い段階での避難が必要です。また、氾濫した水は濁っていますので、側溝や蓋が外れているマンホールには十分な注意を払ってください。



# もしもの洪水！ 野田市などの公共機関からの情報を収集し、冷静に行動しましょう

## 市民のみなさんへの情報の伝達

もしも大雨が降ってきたら、気象庁や国土交通省から発表される洪水予報をテレビ、ラジオ、インターネットより収集し、自主的な避難の判断に役立てましょう。また、市の広報車、防災無線、警察、消防を通して呼び掛けられる避難情報によく注意し、適切な避難行動をとって下さい。



**!** 大雨のときなど場合によっては、避難情報・洪水予報が出されるのが遅れたり、聞こえにくいことがあります。危険を感じたら自主的に避難して下さい。

**積極的に情報収集をしよう!**

**住民のみなさん**

一般の方

要配慮者\*

\*要配慮者とは高齢者、障がい者、乳幼児その他の特に防災上の配慮を要する方を指します。

**国土交通省**  
利根川上流河川事務所  
江戸川河川事務所

**気象庁**  
銚子地方気象台

**千葉県**

**野田市**

**川の防災情報**  
【パソコン・タブレット】 <https://www.river.go.jp/portal/#80>  
【スマホ】 <https://www.river.go.jp/s/xmn0105010/>

**気象庁 防災情報**  
【パソコン・タブレット・スマホ】 <https://www.jma.go.jp/jma/menu/menulash.html>  
【携帯電話】 <https://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html>

**千葉県防災ポータルサイト**  
【パソコン・タブレット・スマホ】  
[http://www.bousai.pref.chiba.lg.jp/X\\_PUB\\_VF\\_Top](http://www.bousai.pref.chiba.lg.jp/X_PUB_VF_Top)

**野田市からの防災情報**

- 防災行政無線**  
防災行政無線を市内212か所に設置しております。また、放送内容を無料電話、メール(まめメール)にて確認することができます。  
**防災放送内容聞き直しサービス 0120-282-283**  
※携帯・自動車電話・PHSからもご利用いただけます。
- まめメール** 野田市配信の安全安心メール。配信登録すると災害時の被害発生状況、交通規制、避難場所開設情報などを受信することができます。  
※登録方法は次ページにて確認してください。
- 野田市ホームページ**  
【パソコン・スマホ・タブレット】 <https://www.city.noda.chiba.jp/>  
【携帯電話】 <http://mobile.city.noda.chiba.jp/>
- 野田市ソーシャルメディア(SNS)まとめ**  
災害情報公式ツイッター / 公式フェイスブック / LINE公式アカウント  
@nodasi\_saigai / @city.noda.chiba.japan / @nodacity

**テレビ(dボタン)、ラジオ**  
データ放送に対応しているテレビではリモコンのdボタンを押すことで気象情報や避難所情報などを確認することができます。  
※大音量状態です。直ちに避難して下さい。

**警察・消防・市の広報車**  
※大音量状態です。直ちに避難して下さい。

携帯電話会社の災害情報伝達サービス

- エリアメール(NTTドコモ)
- 緊急速報メール(ソフトバンク・KDDI)

**アイコン凡例**

- パソコン・タブレット
- スマートフォン
- 携帯電話

## まめメール(登録制メール)

避難情報や避難所など、野田市の災害情報を、登録したメールアドレスに配信します。(登録無料\*)

### 登録方法

- 1 「t-noda@sg-m.jp」または右の二次元コードからアドレスを読み取り、空メールを送信してください。
- 2 登録用URLが記載されたメールが自動で返信されます。
- 3 登録用URLにアクセス後、指示にしたがって登録完了してください。



空メール作成用  
二次元コード

\*別途通信料がかかります。

## 171 災害用伝言ダイヤル

地震などの災害発生時に電話が繋がりにくい状況になった場合に、安否情報を録音にて伝えることができるNTTのボイスメールサービスです。「171」にダイヤルし、音声ガイダンスに従い伝言の録音や再生を行います。

**171 にダイヤル**

ガイダンス(案内放送)が流れます

**1 録音の場合**

0×××× ※1  
××-××××

**2 再生の場合**

0×××× ※2  
××-××××

自宅、または連絡を取りたい被災地の方の電話番号を、市外局番からダイヤルする

**伝言の録音**  
(30秒以内)

**伝言の再生**

※1被災地の方

自宅の電話番号、または、連絡を取りたい被災地の方の電話番号

※2被災地以外の方

連絡を取りたい被災地の方の電話番号

### 体験利用提供日

- 毎月1日、15日 00:00~24:00
- 正月三が日(1月1日00:00~1月3日24:00)
- 防災週間(8月30日9:00~9月5日17:00)
- 防災とボランティア週間(1月15日9:00~1月21日17:00)

※詳しい内容はNTTのホームページなどで確認してください

**携帯電話 災害用伝言板**

携帯電話会社では、大きな災害(震度6弱以上の地震など)が発生した場合に、各社携帯電話のネット上に「災害用伝言板」が緊急開設されます。緊急時に備え、事前に確認しておきましょう。

# いつ避難するの？ 洪水のときの避難情報について

## 市から発令される避難情報の種類

風水害の発生が予想される場合、状況に応じて下記の警戒レベルが発令されます。地域の方々にも声をかけながら、それぞれの警戒レベルに合わせてしっかりと行動しましょう。

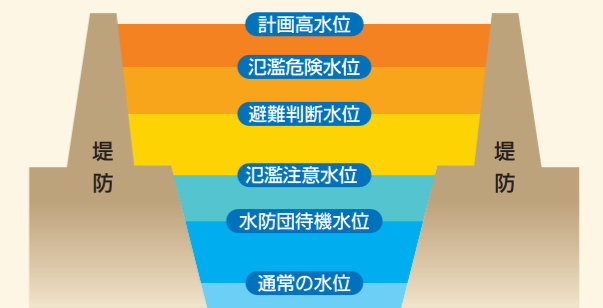
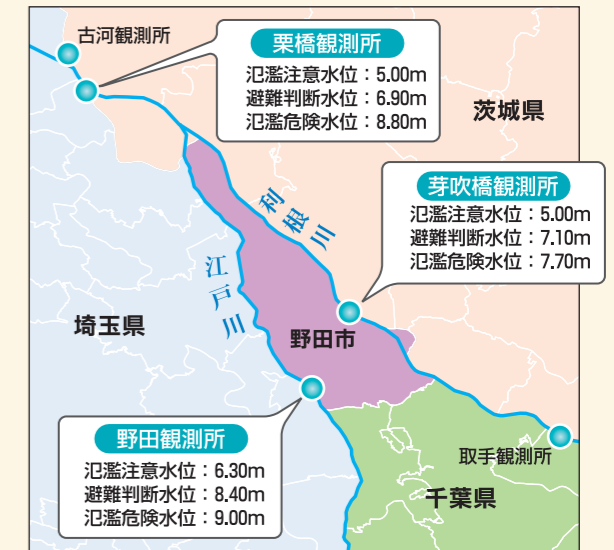
※1 警戒レベル	住民の避難行動	避難情報等	呼びかけ	※2 防災気象情報(例) 〈警戒レベル相当情報〉	河川水位の目安
<b>災害発生</b> <b>5</b>	<b>命を守るための最善の行動をとりましょう。</b> すでに災害が発生している状況です。	<b>緊急安全確保</b>	<b>災害発生</b> ○地区に洪水に関する警戒レベル5、災害発生情報を発令しました。 ○地区で堤防から水があふれました。現在、浸水により○道は通行できない状況です。 ○地区を避難中の方は大至急、近くの安全な場所に緊急に避難するか、屋内の安全な場所に避難してください。	<b>氾濫発生情報</b> <b>大雨特別警報(土砂災害)等</b>	
<b>4</b>	<b>全員避難!</b> 安全な場所へ避難	<b>避難指示</b> 野田市が発令	<b>避難指示</b> ○地区に洪水に関する警戒レベル4、避難指示を発令しました。 ○川が氾濫するおそれのある水位に到達しました。速やかに全員避難を開始してください。避難場所への避難が危険な場合は、近くの安全な場所に避難するか、屋内の高いところに避難してください。	<b>氾濫危険情報</b> <b>記録的短時間大雨情報等</b> <b>土砂災害警戒情報等</b>	<b>避難指示</b> 野田・芽吹橋観測所 1時間後に、両観測所のいずれかにおいて氾濫危険水位に達すると予想される状況
<b>3</b>	<b>要配慮者等は避難!</b> 避難に時間を要する人は避難。その他の住民のみなさんは、避難の準備をしましょう。	<b>高齢者等避難</b>	○地区に洪水に関する警戒レベル3、高齢者等避難を発令しました。 ○川が氾濫するおそれのある水位へ近づいています。お年寄りの方など避難に時間のかかる方は、避難を開始してください。それ以外の方については、避難の準備を整え、気象情報に注意して、危険だと思ったら早めに避難してください。特に、川沿いにお住まいの方については、避難してください。避難場所への避難が困難な場合は、近くの安全な場所に避難してください。	<b>氾濫警戒情報</b> <b>大雨・洪水警報(土砂災害)等</b>	<b>栗橋観測所</b> 氾濫危険水位に到達した状況(氾濫危険情報が発令されたとき) <b>野田・芽吹橋観測所</b> 3時間後に両観測所のいずれかにおいて氾濫危険水位に達すると予想される状況(氾濫警戒情報が発令されたとき)
<b>2</b>	ハザードマップ等で <b>避難行動の確認</b> をしましょう。	<b>大雨注意報・洪水注意報等</b>	<b>気象庁が発表</b>	<b>氾濫注意情報</b>	<b>栗橋観測所</b> 3時間後に氾濫危険水位に達すると予想される状況(氾濫警戒情報が発令されたとき)
<b>1</b>	災害への心構えを高めましょう。	<b>早期注意情報(警報級の可能性)</b>	<b>気象庁が発表</b>		

※1 各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発令されるとは限りません。状況が急変することもあります。  
 ※2 市は様々な情報をもとに避難情報を発令する判断を行うことから、必ずしも防災気象情報と同じレベルの避難情報が同時に発令されるわけではありません。

※3 要配慮者とは高齢者、障がい者、乳幼児その他の特に防災上の配慮を要する方を指します。  
 ※4 上記の相当情報は、住民のみなさんが自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。

## 避難情報発令の目安

野田市では、避難情報を発令する目安となる水位を下図の観測所ごとに設定しています。



- 計画高水位とは  
河川を整備する上で基本となる水位であり、河川整備の計画において設定された洪水流量を流すことができる最高水位として設定された水位
- 氾濫危険水位(危険水位)とは  
洪水により、家屋浸水等の重大な被害を生じる氾濫の恐れがある水位
- 避難判断水位とは  
避難勧告等を発令する時の判断の目安、住民の避難判断の目安
- 氾濫注意水位(警戒水位)とは  
避難準備情報等を発令する時の目安、住民の氾濫に関する情報への注意喚起、水防団の出動目安
- 水防団待機水位(指定水位)とは  
水防団が出動するために待機する水位

## もしも逃げ遅れたら!

もしも逃げ遅れた場合、無理に避難しようとせず、高いところで救助を待つて下さい。



# もし大雨が降ったら？ 洪水予報を収集して自主的な避難に役立てて下さい

## 気象庁が単独で行う洪水予報

気象状況（降雨量）により災害が起こる恐れがあると判断された地域に対して、気象庁（銚子地方气象台）から発表されます。この洪水予報には、注意報と、より危険な状況で発表される警報の2種類があります。「野田市に洪水注意報」、「野田市に洪水警報」というように発表されます。

洪水予報の種類		洪水予報の内容
<b>洪水注意報</b>	同時に「大雨注意報」が発表されたときには、テレビなどでは「大雨洪水注意報」と報道されます。	河川の上流域での大雨や融雪によって下流で生じる増水により洪水害が発生する恐れがあると予想したときに発表します。氾濫注意情報がこれに相当します。
<b>洪水警報</b>	同時に「大雨警報」が発表されたときには、テレビなどでは「大雨洪水警報」と報道されます。	河川の上流域での大雨や融雪によって下流で生じる増水や氾濫により重大な洪水害が発生する恐れがあると予想したときに発表します。氾濫警戒情報、氾濫危険情報、氾濫発生情報がこれに相当します。

※洪水予報以外にも流域雨量指数基準、複合基準により発表される場合があります。

## 国土交通省と気象庁が共同で行う洪水予報

大雨により、利根川、江戸川の水位が上昇し、災害の発生する恐れがあると判断されたときに国土交通省と気象庁より共同で発表されます。

種類	基準
<b>利根川上流部</b> <small>栗橋観測所</small> ・ <b>利根川中流部</b> <small>芽吹橋観測所</small> ・ <b>江戸川</b> <sup>※1</sup> <small>野田観測所</small>	<b>氾濫注意情報</b> <small>警戒レベル2</small> 洪水予報地点（栗橋、芽吹橋、野田水位観測所）で、氾濫注意水位（警戒水位）に到達した時に発表されます。
	<b>氾濫警戒情報</b> <small>警戒レベル3相当</small> 洪水予報地点（栗橋、芽吹橋、野田水位観測所）で、避難判断水位に到達した時、あるいは、水位予測に基づき氾濫危険水位（危険水位）に達すると見込まれたときに発表されます。
	<b>氾濫危険情報</b> <small>警戒レベル4相当</small> 洪水予報地点（栗橋、芽吹橋、野田水位観測所）で、氾濫危険水位（危険水位）に到達した時に発表されます。
	<b>氾濫発生情報</b> <small>警戒レベル5</small> 氾濫が発生した時に発表されます。

※1 洪水予報は、「利根川中流部」氾濫注意情報、「江戸川」氾濫注意情報というように河川名を冠して発表されます。

### ● 雨の降り方で洪水の危険度をチェック

洪水の原因となる雨。この雨の降り方により、洪水の危険度がおおよそ分かります。雨の降り方を観察し、自主的な避難活動に役立てましょう。

日本各地で集中豪雨が 발생し大きな被害が出ていますが、死者が16名にも及んだ平成16年7月新潟・福島豪雨では、新潟県栃尾市で50mm前後の大雨が6時間も降り続き、1日の雨量が421mm（2ヶ月分の雨量に相当）に達しました。この年には、日本で1時間50mm以上の降雨が470回、1日200mm以上が469回、400mm以上が30回観測され、いずれも観測史上最多となりました。

（出典：国土交通省水管理・国土保全局ホームページ、災害の記録）

#### やや強い雨

1時間に10～20mmの雨

注意して下さい！



ザーザーと降る雨。地面が一面に水たまりができ、雨音で話し声が聞き取りにくくなります。この程度の雨でも長く降り続くときには注意が必要です。

#### 強い雨

1時間に20～30mmの雨

避難の心構えを！



土砂降りの雨。傘をさしていても濡れてしまうほどの雨です。側溝や下水が溢れ、小河川なら氾濫、また、崖崩れの心配もあります。テレビ、ラジオなどで今後の様子を注意し、長引きそうなら避難の心構えを。

#### 激しい雨

1時間に30～50mmの雨

避難の準備を！



バケツをひっくり返したような激しい雨。山崩れ、崖崩れが起こりやすくなります。場所によっては、下水管から雨水が溢れ、道路が川のようなこともあります。また、道路規制も行われます。避難の準備を。

#### 非常に激しい雨

1時間に50～80mmの雨

避難情報に注意！

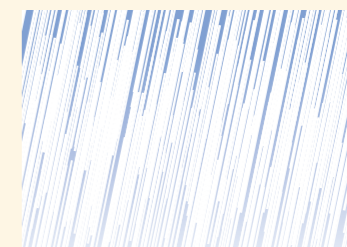


滝のようにゴーゴー降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。傘は全く役に立ちません。中小の河川が氾濫し、水害発生の可能性が高まります。市から避難情報が出る場合があります。

#### 猛烈な雨

1時間に80mm以上の雨

嚴重な警戒を！



息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じます。大規模な災害が発生する恐れが強く、嚴重な警戒が必要です。市から避難情報が出る場合があります。